

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	アジア開発銀行(ADB)拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者			
事業開始・ 終了(予定)年度	平成22年度開始	担当課室	アフガニスタン支援室	室長 有馬 裕			
会計区分	一般会計	施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3号	関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	アフガニスタンが2014年末の権限移譲完了以降、自立的な経済運営と持続可能な開発を進めていくためには、パキスタンや中央アジア等周辺諸国との連結性を高め、地域経済に統合していくことが不可欠。パキスタンのカラチ港からアフガニスタンを通り中央アジアへの物資輸送の大動脈を整備し、安定的な広域物流を確立する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	アフガニスタンの首都カブールとパキスタン北西部の中心都市ペシャワールを結ぶ道路の一部を整備することにより、内陸国であるアフガニスタンが外洋に抜ける物流ルートを確立する。また、道路整備を通じて雇用を緊急に創出するとともに、インフラの管理監督のための中央政府のガバナンス強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算		-	-	-	-
		補正予算		1,880	4,450		
		繰越し等		-	-		
	計		1,880	4,450	-		
	執行額		1,880	4,450			
執行率(%)		100	100				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	【成果目標】 物流促進による生活改善、経済活性化等 【参考指標】 整備対象地域における移動時間の短縮	成果実績	時間短縮率%		実施中	実施中	30%
		達成度	%		-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	カブール・ペシャワール間の幹線道路の一部の整備	活動実績 (当初見込み)	-		実施中 ( - )	実施中 ( - )	実施予定 ( - )
単位当たり コスト	道路1kmあたり約1億1125万円		算出根拠	プロジェクト全体のうちADB理事会が承認済みの区間(156km)の整備費用が195百万ドルであるところ、 195百万ドル÷156Km=1.25百万ドル(11.25百万円 @89(H23年度支出官レート))			
平成24・25年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	アフガニスタンの経済自立性を確保し同国とその周辺地域の安定的発展を図ることは、中東及び南・中央アジア地域における我が国企業の経済活動を利するのみならず、国際テロ等の脅威の低下を通じて広く国民生活の安心に繋がるものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	アフガニスタン国内における大規模インフラ事業の計画及び実施はADBが主導しており、ADBが管理する基金に各国が拠出することで、ドナーが個別に行う場合に比べて、より大規模な事業を一層効率的に実施することができる。事業計画については我が国も参加するADB理事会において承認され、実施状況も報告されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	我が国は1990年代からパキスタン側において円借款による大規模な道路整備事業を実施しており、右道路の延長上にある本件事業を我が国が実施することは、我が国支援の一貫性を確保し、広報効果を高めるとともに、これまでの事業の成果を補完するものでもある。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業実施地域の治安情勢は予断を許さず、事業の進捗状況についてリアルタイムで詳細に把握することはADBとしても容易でないが、我が方の照会に対してADBは逐次誠実に対応しており、必要な情報は提供されている。また、現地事務所及び本部とも我が国の支援内容を把握し、連携して我が国拠出金を活用した事業の実施状況をフォローしており、事業が適切に管理されていると評価できる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	69